沖縄・普天間米軍基地→

「柏倉秀吉・晴香海外邦人宣教支援会」発行

2021年12月

第8号

2016年の米国防総省統計資料集計による←

アメリカ・サンディエゴ海外邦人宣教

「傷んだ葦を折ることもなく、くすぶる灯心を消すこともない。さばきを勝利に導くまで。」

マタイ 12:20

【巻頭言】

救い主イエス様の御降誕おめでとうございます。

今も世界中でこの方の誕生の良き知らせが語られていることを感謝し、宣教が前進しますことをお祈りいたします。

私は今年度より柏倉宣教師を支える会コアメンバーに加えていただきました。柏倉先生は宣教の情熱を持ち、また心から教会を大切にされていることに感銘を受けました。皆様と共に、サンディエゴ海外邦人宣教のため祈り仕えることができれば幸いです。

柏倉先生ご家族を実際に送り出すために、経済の必要の満たし、R-1Visa の取得、現地での住居と生活、子どもたちの教育、などまだ多くの課題を私たちは抱えています。

予想していた困難もあれば、さらに前へ進む時に直面する予想していなかった困難もあるでしょう。その時にこそ、以前のニュースレターで柏倉先生が書かれていた、「この町には、わたしの民がたくさんいるのだから。」(使徒 18:10)とある通り、先生の召しの原点に、私たちも共に帰る必要があることを思わされています。サンディエゴにいる「わたしの民」と主が招いてくださっている方々に福音を伝えるため、柏倉先生ご家族は備えられています。

支える会に加わり学んでいることがあります。私たちが送り出す者になる必要です。

宣教師ご家族は、精神的、実務的、経済的、そして祈りによる霊的なサポートを必要としています。「傷んだ葦を折ることもなく、くすぶる灯心を消すこともない」主イエス様によって支えられているようだと、柏倉先生ご家族が受け取ることのできるようなサポートを、コアメンバー、支える会の皆様お一人お一人と共にしていきたいと思わされています。

悲しむ時に共に悲しみ、喜ぶ時に共に喜び、そのようにして救い主イエス様をさらに深く知ることができますならば、これ以上の幸いはありません。

救い主の誕生を共に伝えてまいりましょう。

グレースコミュニティ

益田　結

†第一回サンディエゴ視察訪問†

皆様のお祈りとご支援を心から感謝致します。

長らく祈ってきましたが、主の導きによりコロナ禍のこの時期でも、サンディエゴへ視察訪問に行けたことは本当に感謝でした。訪問ではたくさんの恵みを受け、今後に繋がる示唆を沢山いただきました。また帰国後すぐにオミクロン株が南アフリカで発見されたため、海外から日本への渡航制限がより厳しくなりました。私は規制が厳しくなるギリギリ前に帰国出来たことも感謝でした。帰国後２週間隔離をしました。＜恵みの分かち合い＞

さて、今回の訪問で受けた恵みを分かち合いたいと思います。

今回訪れたのはサンディエゴ群の最北部にあるオーシャンサイドという地域です。このオーシャンサイドの隣にはキャンプ・ペンデルトンという海兵隊の大きな施設と訓練場があります。それは広大で東京ドーム10,823個分だそうです。

オーシャンサイドは海兵隊の方々と共に町が発展していきました。その海兵隊の方々と国際結婚をする日本人女性が居ます。また郊外では日本から移住して農業をしている方も居ます。

更にサンディエゴには海軍もあり、様々な施設、学校、病院等が多く作られました。そしてサンディエゴの中部地域にはU.C.San Diegoという有名な大学があります。今はコロナ禍でサンディエゴに留学している日本人は少ないのでは？と考えていましたが、実際はその逆でした。上の写真のマンションには、主にU.C.SanDiegoに通っている日本からの留学生及び研究者家族が大勢住んでいました。そして今回の訪問中に一組の家族が礼拝に参加してくれました。

実はこの家族は、メルボルン時代に救いに導かれたM姉のお兄さん家族です。M姉は『サンディエゴに兄家族が行くので是非伝道して下さい！』と祈っていました。M姉の祈りと皆様の祈りが宣教へと進ませ、主が導いてくださいました。

また今回訪れた教会はFirst Baptist Church of Oceansideという教会です。礼拝ではバンドが賛美リードをし、牧師は高い講壇からではなく会衆と同じ高さからメッセージをしていました。とても温かで楽しく嬉しくなるような礼拝の雰囲気でした。そして教会では私達のことを覚えて、会堂の掲示板、通路の掲示板･･･等の色んなところに写真を貼って祈りに覚えて下さっていました。本当に感謝です。

また平日に集会を持って、現状報告と共にVisionを分かち合いました。皆さんさん熱心に聞いてくれました。

もう一つの恵みは、現地に力強いサポートチームが与えられていることです。

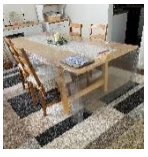
その筆頭はなんと言っても同じ Missions Door の宣教師であったフィリップ・ウオーターズ先生です。彼は宣教師として日本で 7 年間ほど奉仕しました。またその後は南カリフォルニアで日本語教会の開拓や牧会をして主に仕えました。

現在は First Baptist Church of Oceanside の長老として教会に在籍していて、宣教師としては第一線から引退しましたが、私達がサンディエゴに遣わされる時には、『何でも協力する！』と力強く言ってくださっています。

（セシル師と佐藤師の車↓）

またロサンゼルス郊外のロングビーチというところで日本人宣教をしているオデル宣教師(ナビゲーター)も、『日本人の救いのために宣教協力をしていきましょう！』と言って下さいました。実は、このオデル宣教師とは主にある不思議な導きがありました。

私は神学校 4 年生の時に田園グレースチャペルで奉仕をさせていただきましたが、その田園グレースチャペルで現在礼拝メッセージの奉仕(月一回程度)をしている佐藤義孝先生は、コロナウィルスが流行する前の 2019 年までロングビーチでセシル宣教師と一緒に日本人宣教をしていました。その佐藤先生の紹介でオデル宣教師と会うことが出来たのです。また佐藤先生がロングビーチでミニストリーをしていた時に使っていたタンスやテーブル、またカーペットや冷蔵庫、そして車までも献品します。と言って下さいました。本当に感謝、感激です！主の御名を崇めます！私達も主を愛し仕える方々の上に、主が必要の全てをいつも満たしてくださるように続けて祈りたいと思います。



それから今回の視察で特に大きな恵みの一つだったのが、サンディエゴと日本とオーストラリアを繋いだ Zoom 祈祷会でした。

これまで皆様と共に祈ってきたサンディエゴ邦人宣教がここまで具体的に進んできたこと、そして主はそのように導いて下さっていることに心から感動しました。またこれからさらに本格的に始まって行くことへの大きな期待が溢れたように思いました。主の御名を崇めます！

＜宣教の課題の分かち合い＞

サンディエゴにいる日本人の多くは国際結婚をした日本人女性です。戦後国際結婚し渡米した方々は現在高齢です。夫に先立たれ孤独な方々もいて、また通院や入院、そして手術が必要な方もいます。または認知症などを患っている方もいます。

米軍の方々と国際結婚する日本人女性は戦後が一番多かったかもしれませんが、現在でも多くいます。実際、日本には多くの米軍基地があります。特にその地域では米兵と日本人の交遊があり、そこから国際結婚に導かれる若い日本人女性がいて、そのほとんどがノンクリスチャンのです。結婚後、夫婦生活がうまくいっている時は良いのですが、アメリカ人が米本土に戻ってきた時に豹変する事があるようです。今回の訪問でも DV で苦しんだ若い日本人女性がいました。不思議なことですが、サンディエゴに来て改めて「日本」を見直す事になりました。平和ボケしていた自分を認めなければなりません。彼女達には真の平安がないのです。福音宣教が必要です。

米兵と結婚して幸せになった人もいれば、残念ながらそうではなく、非常に苦しい日々、しかも日本に住んでいれば経験しなくても良いような過酷な生活を強いられる人もいます。すると同じ日本人であっても、何か目に見えぬ溝のようなものが出来るのです。そしてその溝は時に分裂、批判、裁き合うというような痛みがあります。人間の大きな罪の現実です。日本人同士の間にはそうした課題もあるのです。

人々が救いに導かれることはもちろんですが、信仰の一致のためにもどうぞ続けてお祈りお願い致します。

†お知らせと今後について†

私たち(支援会の皆様)は主の導きにより当初の目標 50%($3500)を達成し、VISA の申請が始まりました。本当に感謝です！しかし残念ながら現在のアメリカのインフレ(物価上昇)と円安により、アメリカ国内で生活していくためには高い経済的基盤が求められました。それで現状としてはアメリカ政府が十分に納得できるまでの経済的基盤が出来ていないとのことです。驚いて開いた口が塞がりませんでしたが、経済的基盤が弱いと VISA の取得が遅くなります。確かに今回渡米した時に感じましたが、アメリカの物価は非常に高くなっていました。少なくとも倍の支援が求められています。そこで再び１月から２月末まで単身で渡米する予定を祈っています。前回の渡米で導かれた様々な出来事と人々との出会いをより堅固なものと出来るように、そしてさらなるデプテーションと支援者が起こされるように渡米したいと思っています。

物価の高いアメリカへ宣教に出かけることは身を削るような大きなチャレンジですが、ウオーターズ先生も言っていたように『ひとりの人の価値はお金には比べられないほど大切なもの』です。

こんな者でも主は召して下さいましたから、何とかお仕えしたいと願っています。皆様からの変わらずのお祈りとご支援を心から感謝しています。本当にありがとうございます。

†祈祷課題†

◆主の御心なら宣教のために全ての必要が満たされるように！

◆支援会との一致、また Missions Door との良き関係作りとビザの申請が今後更にスムーズに成されるように！

◆ご支援くださる皆様との豊かな関係作りとこの働きを通して主の御心がなされて主の栄光が表されるように！

◆家族の健康と渡米へ向けての霊的な整えのために！

◆デプテーションや渡米などの移動時も願わくば新型コロナウィルスやその他のあらゆる危険からも守られ、訪問先、または帰国後に家族も守られるように！

◆渡米後の教会生活、住居、学校、友達、先生･･･など良き出会いと良き交わりが与えられるように！

兄弟たち。私たちの主イエス・キリストによって、また御霊の愛によってお願いします。私のために、私とともに力を尽くして、神に祈ってください。ロマ 15:30

クリスマスおめでとうございます。
日々私達のことを覚えてお祈り下さり、心から感謝致します。
皆様の上に主の豊かな祝福がありますようにお祈りしています。

「柏倉秀吉･晴香海外邦人宣教支援会」
事務局：〒9900062 山形市鈴川町 3−8−19
TEL:09013795564 Mail: satohiroaki0712@gmail.com
支援会口座(ゆうちょ):02220-9-114906 委員長:佐藤ヒロアキ